

ヒノキのはがき

名栗に来た記念に西川材ヒノキの間伐材を使って木のはがきを作りましょう。ここでの思い出を書いて郵送すれば、よい記念になります。ヒノキのはがきを受け取った人も嬉しいですね。



対象	実施時期	定員	所要時間
3歳以上	通年	5～150人	1時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品		材料
なし	カラーペン・スタンプ・スタンプ台・ゴミ袋		ヒノキの板・紙やすり

ねらい

- ・想像力や表現力を高める。
- ・西川材間伐材の活用
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、各団体で進行してください

準備（1作業台 2～3人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② ヒノキの板・紙やすりを配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。

実施

- ① ヒノキの板の切り口のささくれを紙やすりを使ってけずります。
- ② カラーペンやスタンプなどで文字や絵を描きます。

※切手 94円切手を貼って投函。（切手は持参）

片付け

- ① 道具類は所定の場所に戻します。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは職員が用意したゴミ袋にまとめてください。

まとめ

- ・作品披露。
- ・ふりかえり

留意点

- ・ささくれ部分を削る際のけがに注意しましょう。
- ・窓口に出す際には、必ず職員と出した枚数を確認してください。

SDGs への取組

- 国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- 自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。

